

《イギリス研修4日目（2025年7月29日）報告書》

研修4日目のイギリスは、朝から厚い雲に覆われ、朝食時には小雨も降るなど、これまでで最も寒さを感じる一日となりました。

午前中は、初めての英語レッスンが行われました。昨日実施されたプレースメントテストの結果をもとに、生徒さんたちは6つのクラスに分かれて授業を開始しました。本日のメインテーマは「新聞づくり」です。食べ物、スポーツ、天気、政治経済、ゴシップなど、多岐にわたるテーマの中から約4つを選び、各国の生徒が混在するグループで意見を出し合い、自国の知識を共有したり、実際に取材を行ったりしながら、B4サイズの新聞を作成していきました。文法や長文読解といった日本の英語学習とは異なる授業形式や、さまざまな国の英語が飛び交う教室に、生徒さんたちは最初こそ戸惑いを感じていたようです。クラスによっては授業が難しく感じられ、自信をなくしかけた生徒もいましたが、「初回である今こそ大切な一歩」であることを伝え、引き続き前向きに取り組む姿勢を大切にしてもらっています。

午後は、ロンドンにある世界的に有名な Natural History Museum を訪れました。1881年に開館したこの自然史博物館は、動物学、昆虫学、古生物学、植物学、鉱物学、地質学など多岐にわたる分野の標本を8,000万点以上所蔵しており、「自然の大聖堂」とも称される壮麗なロマネスク様式の建築も見どころのひとつです。生徒さんたちはそれぞれの興味に応じた展示を自分のペースで見学していました。特に印象に残っていたのは、宝石や鉱物に関する展示や、博物館の目玉である恐竜・化石のブースとのことです。目を見張るような巨大な恐竜の化石や、美しく輝く鉱物の数々に感嘆の声が上がっていました。

夜は、ナイトアクティビティとして「Disco（ディスコ）」が開催されました。日中の活動で疲れが見えていた中、多くの生徒さんにとってディスコは初めての体験であったことから、最初はやや緊張した様子も見られました。しかし、会場に流れるおなじみの洋楽メロデーに合わせて徐々に体が動き出し、自然と他国の生徒と踊ったり、肩を組んで円を描いたり、音楽とダンスを通じて国を超えた交流が生まれていきました。中には、得意なダンスを武器に、DJに曲をリクエストしてパフォーマンスを披露する生徒さんもあり、大いに盛り上がりを見せました。言葉の壁を越えて心が通い合うこのような経験は、生徒さんたちの今後の国際的な人間関係づくりにも大きな自信と勇気を与えてくれたことと思います。

なお、本日から少しずつ疲れが見え始めている生徒さんもあり、加えてイギリス特有の寒暖差も体に影響を及ぼしやすくなっております。そのため、日々の体調管理については引き続き丁寧に声をかけ、万が一体調に異変があった際には、無理をせず十分な休息を取るよう指導しております。明日以降も、安全と健康を第一に、引き続き充実した学びと交流の機会を提供してまいります。

以上、4日目のご報告とさせていただきます。

英語クラスの様子



National History Museum 見学の様子



Disco の様子

